

小牧市上下水道事業の令和4年度決算

1. 水道事業

1. 1. 概況

表 1 過年度の水道事業概況

	単位	H30	R1	R2	R3	R4
給水人口	人	152,739	152,768	151,837	150,601	150,106
配水量	m <sup>3</sup>	20,041,581	19,849,512	20,301,628	19,986,426	19,743,255
有収水量	m <sup>3</sup>	18,732,909	18,505,255	18,862,511	18,588,645	18,285,606
有収率	%	93.47%	93.23%	92.91%	93.01%	92.62%
県水受水量	m <sup>3</sup>	13,101,610	12,798,514	13,373,190	12,906,730	12,789,770
自己水率	%	34.63%	35.52%	34.13%	35.42%	35.22%
料金収入	千円	2,362,708	2,329,461	2,039,749	2,326,186	1,871,548
供給単価	円/m <sup>3</sup>	126.13	125.88	108.14	125.14	102.35

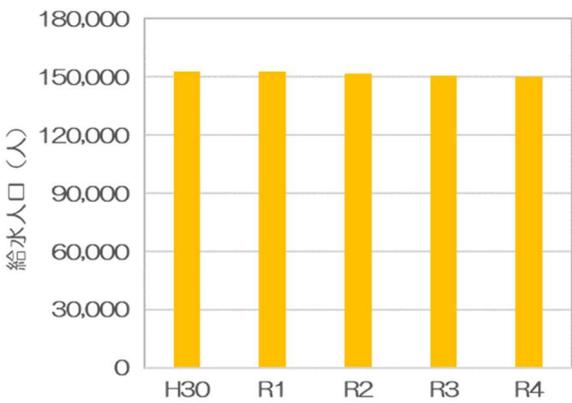


図 1 給水人口の過年度推移

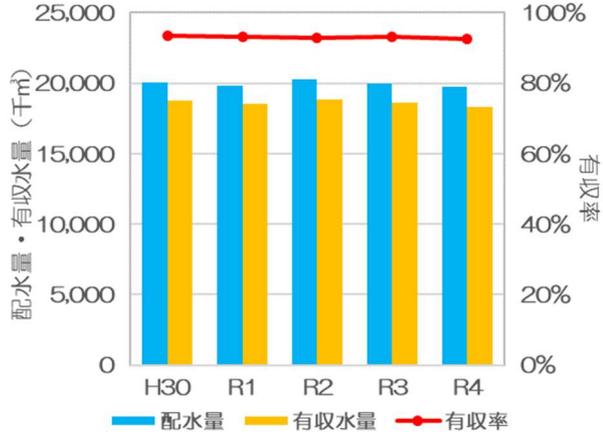


図 2 配水量・有収水量・有収率の過年度推移

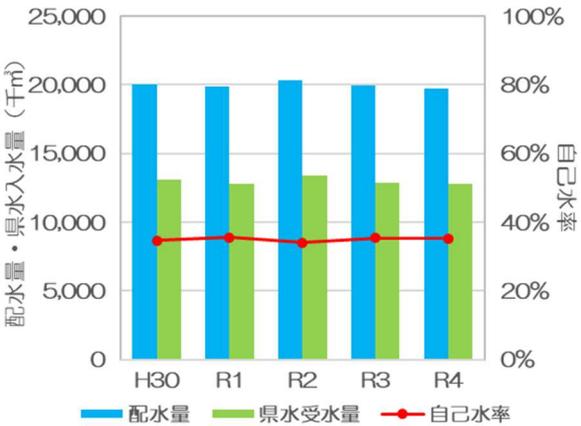


図 3 配水量・県水受水量・自己水率の過年度推移

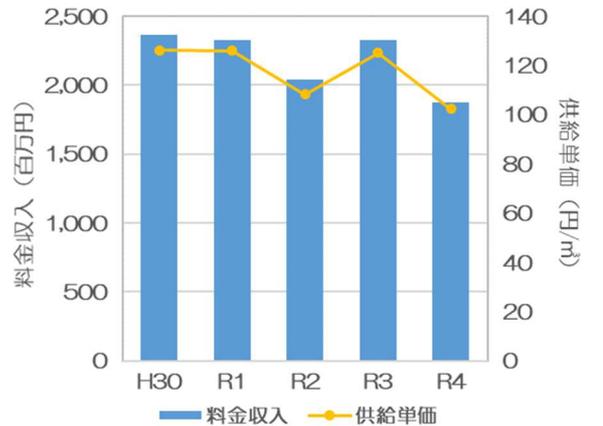


図 4 料金収入・供給単価の過年度推移

## 1. 2. 主な事業

### (1) 令和4年度の主な事業

ソフト	ハード
<p>■普及活動</p> <p>➢ 水道週間啓発活動（あいちの水配布等）</p> <p>■その他</p> <p>➢ 小牧市水道水質検査計画に基づく水質検査</p> <p>➢ 水道料金及び下水道使用料のモバイル決済導入（R4.11月）</p>	<p>□修繕・改築</p> <p>➢ 横内2号取水井の清掃修繕</p> <p>➢ 横内浄水場の更新（令和3、4年度）</p> <p>□耐震化</p> <p>➢ 幹線耐震ループ化計画（ループ管）事業</p> <p>➢ 送水管（横内浄水場～本庄配水池）整備事業</p>

### (2) 配水管の総延長

表2 配水管の総延長

単位：m

R3末総延長	R4整備延長	R4廃止延長	R4末総延長
①	②	③	④=①+②-③
915,145	5,547	2,731	917,961

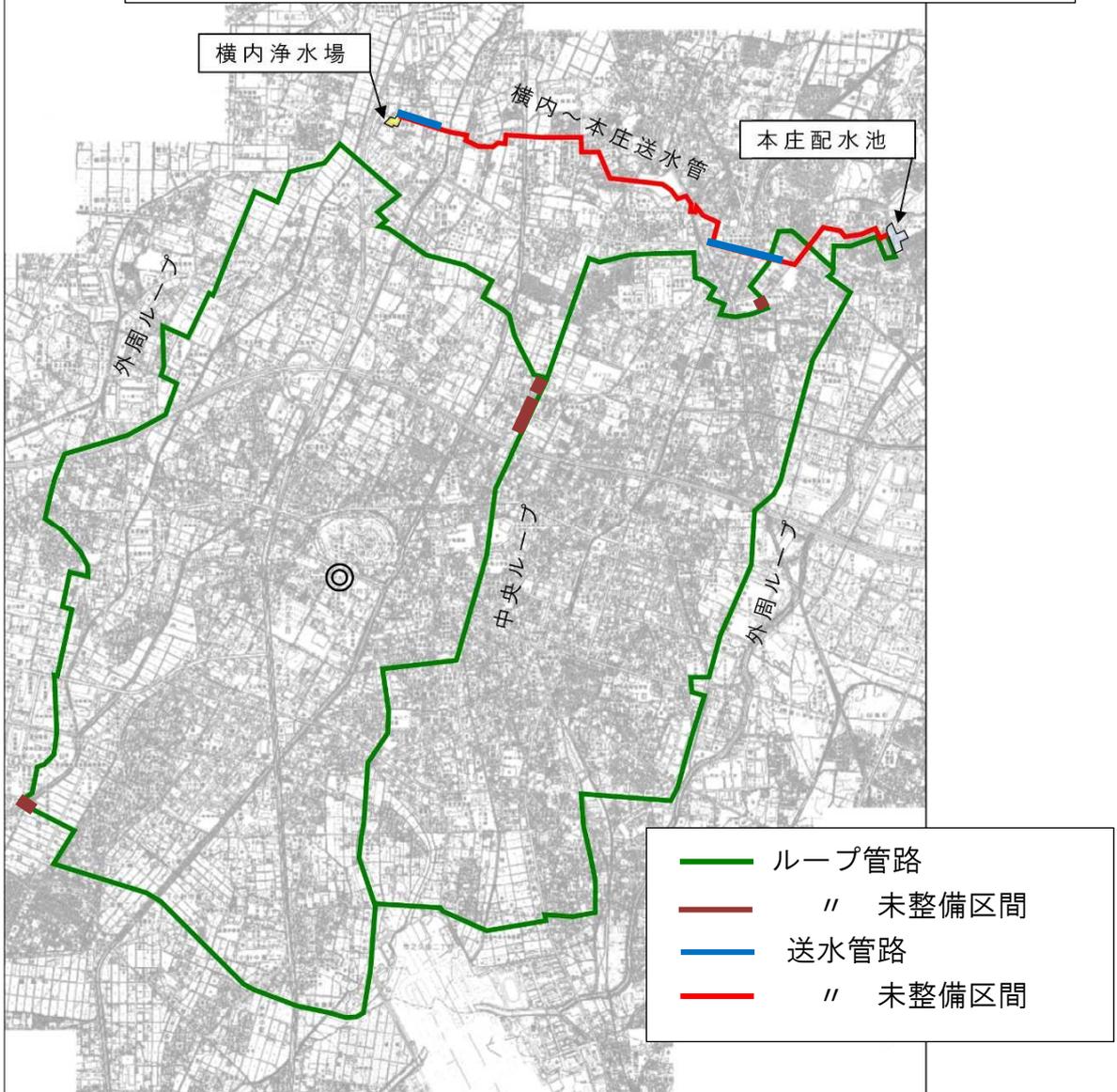
### (3) 更新延長、管路経年化率、管路更新率

表3 管路更新に係る指標

	単位	R4	R3	比較
更新延長	m	2,816	866	1,950
管路経年化率	%	31.36	30.61	0.75
管路更新率	%	0.39	0.55	△0.16

<送水管整備事業> (事業期間 R2~R11)

横内浄水場と本庄配水池をつなぐ送水管は布設後40年以上が経過し、  
今後は経年劣化の進行が見込まれることから、延長4,280メートルの耐  
震化した送水管を新たに整備し、バイパス化します。



<幹線耐震ループ化計画事業> (事業期間 H21~R5)

震災時でも複数ルートから配水できるよう、耐震化した配水管で骨格を形成す  
るため、ループ管を整備します。

図5 水道事業の工事箇所図

# 1. 3. 決算報告

## (1) 収益的収入

表4 収益的収入の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	給水収益 (水道料金収入)	1,871,547,842	2,326,185,654	△ 454,637,812	80.46
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	6,665,620	7,177,510	△ 511,890	92.87
	その他の営業収益	153,357,357	153,326,489	30,868	100.02
		2,031,570,819	2,486,689,653	△ 455,118,834	81.70
営業外収益	受取利息及び配当金	4,617,618	3,999,845	617,773	115.44
	他会計補助金 (一般会計からの補助金収入)	430,959,550	1,028,000	429,931,550	41,922.14
	長期前受金戻入	313,140,981	316,057,467	△ 2,916,486	99.08
	雑収益	13,143,649	11,015,442	2,128,207	119.32
		761,861,798	332,100,754	429,761,044	229.41
特別利益	固定資産売却益	0	0	0	—
	過年度損益修正益	1,645,631	37,888	1,607,743	4,343.41
	その他特別利益	391,735	2,682,963	△ 2,291,228	14.60
		2,037,366	2,720,851	△ 683,485	74.88
合計		2,795,469,983	2,821,511,258	△ 26,041,275	99.08

### 【増減の大きな項目】

- ▶ 給水収益：新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、原油価格や物価の高騰の影響を受ける市民生活および経済活動への支援として、水道料金の基本料金約4億3千万円の免除を行ったため、約4億5千5百万円の**減少**  
(※仮にこの減免が無ければ令和3年度に比べて約2千4百万円の**減少**となる見込み)
- ▶ 他会計補助金：前述の水道料金の基本料金減免に要する経費を一般会計から補助金として収入したことにより、約4億3千万円の**増加**

収益的収入の合計は、約2千6百万円の**減少**となりました。

## (2) 収益的支出

表5 収益的支出の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	原水及び浄水費 (原水取水、浄水施設の維持管理)	1,253,835,153	1,167,291,251	86,543,902	107.41
	配水及び給水費 (給配水管路の維持管理)	129,297,301	150,728,647	△ 21,431,346	85.78
	業務費 (開閉栓受付や料金徴収業務)	124,537,681	127,445,186	△ 2,907,505	97.72
	総係費 (総務及び経営管理)	85,472,102	83,183,679	2,288,423	102.75
	減価償却費	853,508,404	842,094,335	11,414,069	101.36
	資産減耗費	24,753,007	20,446,752	4,306,255	121.06
		2,471,403,648	2,391,189,850	80,213,798	103.35
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	23,848,236	29,785,030	△ 5,936,794	80.07
	雑支出	687,338	35,912	651,426	1,913.95
		24,535,574	29,820,942	△ 5,285,368	82.28
特別損失	固定資産売却損	0	0	0	—
	過年度損益修正損	1,245,865	2,023,405	△ 777,540	61.57
	その他特別損失	24,500,000	0	24,500,000	皆増
		25,745,865	2,023,405	23,722,460	1,272.40
合計		2,521,685,087	2,423,034,197	98,650,890	104.07

### 【増減の大きな項目】

- 原水及び浄水費：委託料や動力費の増加などにより約8千7百万円の増加
- 配水及び給水費：修繕費の減少などにより、約2千1百万円の減少

収益的支出の合計は約9千9百万円の増加となりました。

### 【収益的収支の計算】

収益的収入 2,795,469,983 円 — 収益的支出 2,521,685,087 円

＝純利益 273,784,896 円

### (3) 資本的収入

表6 資本的収入の実績と対前年度比較

(税込) (単位: 円)

		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的収入	負担金 (給配水工事に係る負担金収入)	291,664,060	121,459,605	170,204,455	240.13
	出資金 (一般会計からの出資金収入)	130,000,000	130,000,000	0	100.00
	他会計負担金 (一般会計からの負担金収入)	6,834,580	24,267,570	△ 17,432,990	28.16
	固定資産売却代金	0	0	0	—
		428,498,640	275,727,175	152,771,465	155.41

#### 【増減の大きな項目】

- 負担金：給配水工事負担金や下水道事業などからの支障物件移転補償負担金の増により、約1億7千万円の増加
  - 他会計負担金：消火栓新設移設工事18件の減により約1千7百万円の減少
- 資本的収入の合計は約1億5千万円の増加となりました。

#### (4) 資本的支出

表7 資本的支出の実績と対前年度比較

(税込) (単位：円)

		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	2,657,174,809	1,168,492,278	1,488,682,531	227.40
	拡張費 (基幹管路の整備、複線化事業)	758,774,270	373,264,935	385,509,335	203.28
	建設改良費 (老朽管路・施設の更新事業)	1,896,258,985	793,664,418	1,102,594,567	238.92
	固定資産購入費	2,141,554	1,562,925	578,629	137.02
	企業債償還金	193,367,980	208,937,026	△ 15,569,046	92.55
	投資	100,000,000	0	100,000,000	皆増
		2,950,542,789	1,377,429,304	1,573,113,485	214.21

#### 【増減の大きな項目】

- 拡張費：基幹管路整備事業（ループ管整備事業）などにより約3億8千6百万円の増加。
- 建設改良費：老朽管路更新事業や横内浄水場更新事業などにより約11億3百万円の増加。

資本的支出の合計は約15億7千3百万円の増加となりました。

#### 【キャッシュ・フロー計算書】

##### ①業務活動によるキャッシュ・フロー：業務CF

当年度純利益や減価償却費などの増加額と長期前受金戻入や利息支払などの減少額により算出

##### ②投資活動によるキャッシュ・フロー：投資CF

有形固定資産の取得による支出と一般会計からの工事負担金等による収入により算出

##### ③財政活動によるキャッシュ・フロー：財政CF

企業債償還による支出と出資金による収入により算出

#### 資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + ( \text{①業務CF} + \text{②投資CF} + \text{③財政CF} ) \\
 &= \underline{5,409,109,135 \text{ 円}} + ( \underline{371,928,557 \text{ 円}} - \underline{851,026,000 \text{ 円}} - \underline{63,367,980 \text{ 円}} ) \\
 &= \underline{4,866,643,712 \text{ 円}} \text{ (542,465,423 円の減少)}
 \end{aligned}$$

## (5) 貸借対照表

表8 貸借対照表の概要

単位：千円

			R5.3.31	R4.3.31	増減額	
資産の部	固定資産	有形固定資産	22,547,739	20,997,783	1,549,956	
		無形固定資産	14,776	18,089	△ 3,313	
		投資その他資産	299,971	199,847	100,124	
			22,862,486	21,215,719	1,646,767	
	流動資産	現金預金	4,866,644	5,409,109	△ 542,465	
		未収金・貸倒引当金	992,612	329,147	663,465	
		貯蔵品	21,459	22,267	△ 808	
		前払金	179,105	246,800	△ 67,695	
			6,059,820	6,007,323	52,497	
			28,922,306	27,223,042	1,699,264	
負債資本	固定負債	企業債	755,790	930,025	△ 174,235	
		引当金	5,587	32,835	△ 27,248	
	流動負債		761,377	962,860	△ 201,483	
		企業債	174,235	193,368	△ 19,133	
		未払金	1,819,107	311,964	1,507,143	
		前受金	48,459	14,680	33,779	
		引当金	17,461	17,519	△ 58	
		その他流動負債	116,305	100,392	15,913	
	繰延収益		2,175,567	637,923	1,537,644	
		長期前受金	18,716,206	18,490,477	225,729	
		収益化累計額	△ 12,005,679	△ 11,736,321	△ 269,358	
		建設仮勘定長期前受金	13,548	10,601	2,947	
			6,724,075	6,764,757	△ 40,682	
			9,661,019	8,365,540	1,295,479	
	資本の部	資本金	15,482,443	15,036,385	446,058	
		剰余金	資本剰余金	2,766,553	2,766,553	0
			利益剰余金	1,012,291	1,054,564	△ 42,273
		3,778,844	3,821,117	△ 42,273		
		19,261,287	18,857,502	403,785		
		28,922,306	27,223,042	1,699,264		

## 【主な分析指標】

自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) × 100  
(総資産に占める自己資本の割合を示すもので、この割合が大きいほど経営が安定している)

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) × 100  
(長期の安定性を示すもので、100%以下が望ましい)

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100  
(短期債務に係る支払い能力・運転資金の状況を示すもので 200%以上が望ましい)

表9 主な分析指標の過年度推移

単位：%

	H30	R1	R2	R3	R4
自己資本構成比率	91.5	92.4	93.4	94.1	89.9
固定資産対長期資本比率	79.5	79.6	79.5	79.8	85.5
流動比率	878.5	903.3	965.7	941.7	278.5

## 1. 4. 経営指標

### (1) 主な経営指標

表 10 主な経営指標の過年度推移

	H30	R1	R2	R3	R4
経常収支比率	120.73	115.83	115.35	116.43	111.92
料金回収率	113.60	109.30	94.73	110.51	85.74
有形固定資産減価償却率	51.69	52.43	53.25	54.08	53.52

単位：％

経常収支比率＝（営業収益＋営業外収益）÷（営業費用＋営業外費用）×１００

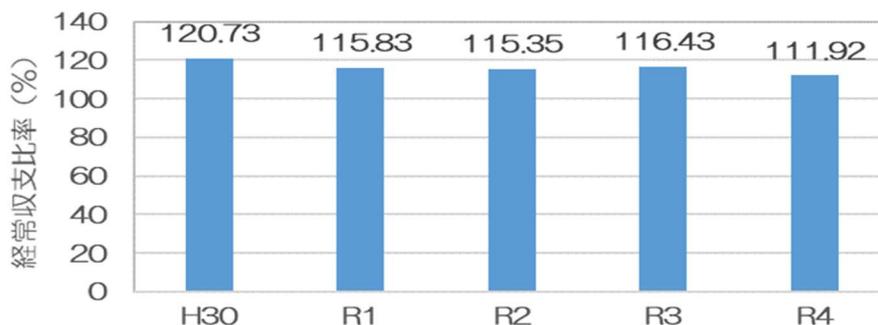


図6 経常収支比率の過年度推移

料金回収率＝供給単価÷給水原価×１００

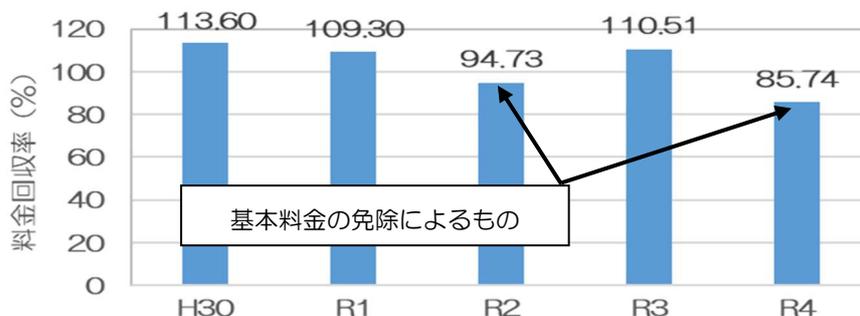


図7 料金回収率の過年度推移

有形固定資産減価償却率

＝有形固定資産減価償却累計額÷有形固定資産の内償却対象資産の帳簿原価×１００

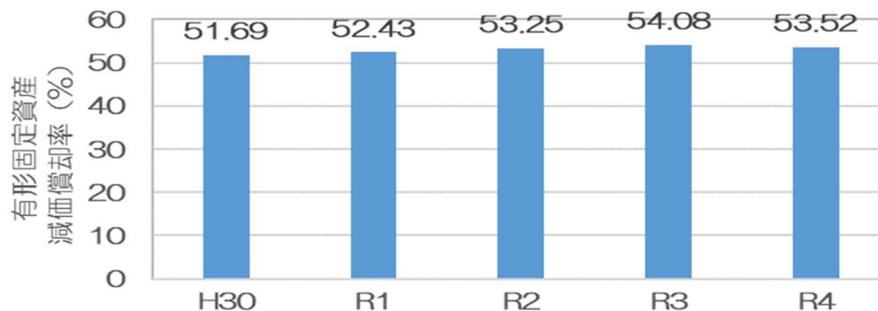


図8 有形固定資産減価償却率の過年度推移

## (2) 純損益

表 11 収益的収支及び純損益の過年度推移

(税抜)(単位：千円)

	H30	R1	R2	R3	R4
収益的収入	2,945,960	2,879,968	2,859,922	2,821,511	2,795,470
収益的支出	2,441,502	2,540,967	2,479,967	2,423,034	2,521,685
純損益	504,458	339,001	379,955	398,477	273,785

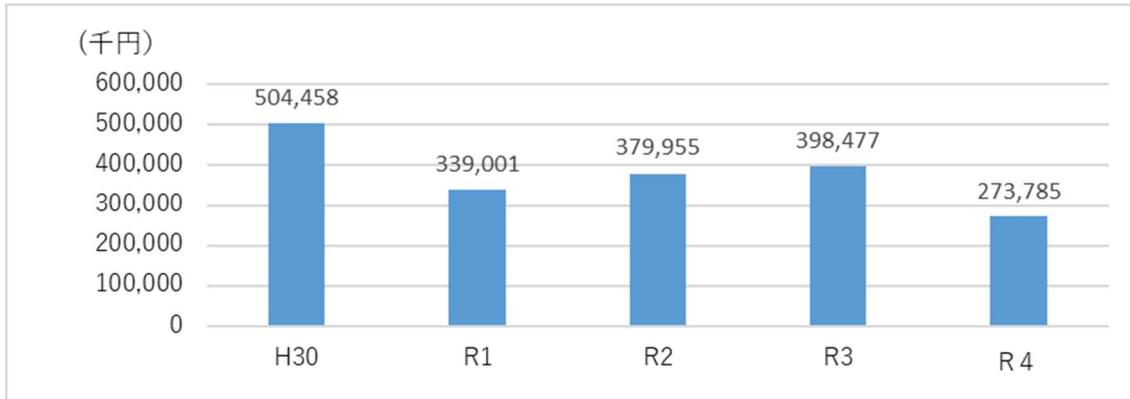


図9 純損益の過年度推移

## (3) 資金期末残高

表 12 資金期末残高の過年度推移

	単位	H30	R1	R2	R3	R4
資金期末高	千円	5,627,916	5,592,301	5,535,824	5,409,109	4,866,644
年度内増減額	千円	△ 99,603	△ 35,615	△ 56,477	△ 126,715	△ 542,465
前年度末比	%	98.26	99.37	98.99	97.71	89.97

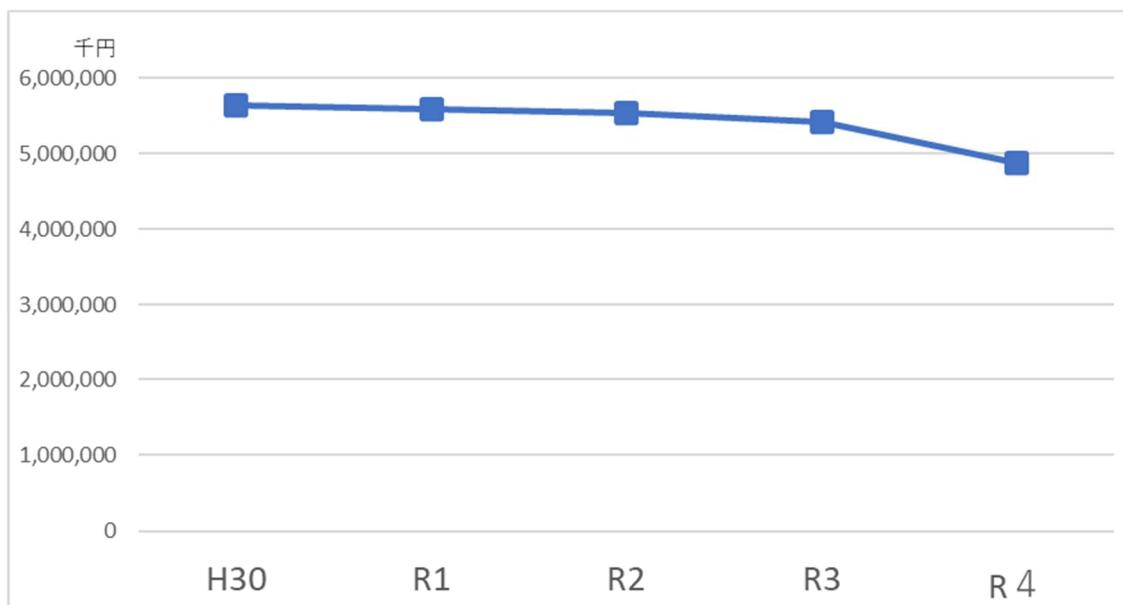
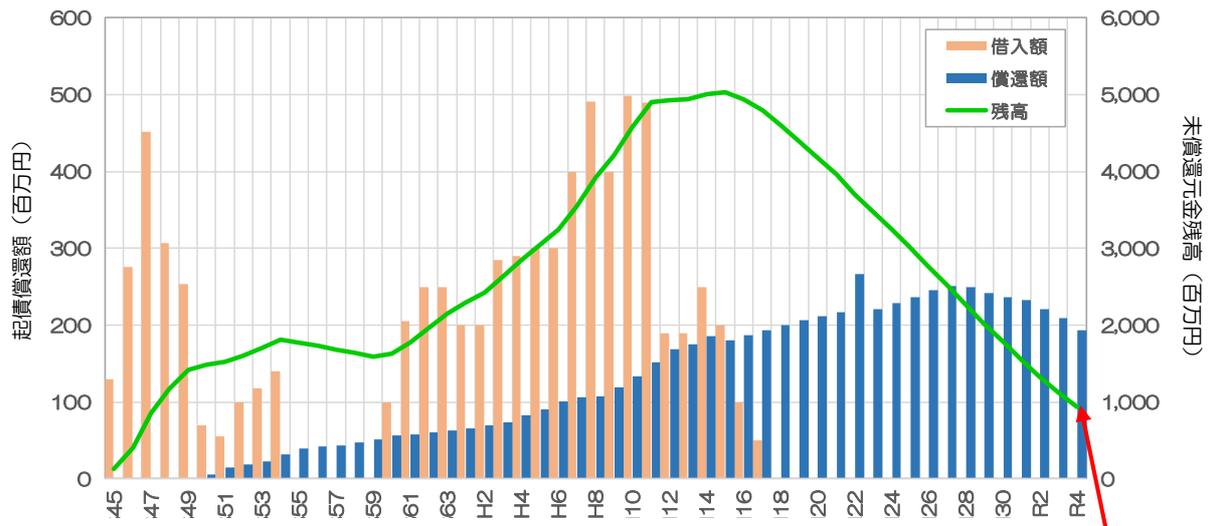


図 10 資金期末残高の過年度推移

(4) 企業債



## 1. 5. ビジョン・経営戦略の進捗

### (1) 基本目標

#### 基本目標1 【安全】「安全・安心な水道」の指標

指標番号	指標名	単位	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R2(2020)
—	水質基準不適合率	(%)	0	0	0	0	0を維持	—
B101	自己保有水源率	(%)	28	28	29	29	28以上	20.9

#### 基本目標2 【強靱】「災害に強く安定した水道」の指標

指標番号	指標名	単位	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R2(2020)
B602	浄水施設の耐震化率	(%)	92.7	92.7	92.7	92.7	97.2	51
B504	管路の更新率	(%)	0.75	0.59	0.55	0.39	1.0以上	0.84
B605	管路の耐震管率	(%)	23.2	23.9	24.6	25.1	34.5以上	19.4
—	ループ管の整備率	(%)	92.9	94.8	95.9	96.4	100	—
—	重要給水施設への管路整備率	(%)	72.8	74.5	76.6	76.6	100	—
—	送水管（横内浄水場～本庄配水池）の整備率	(%)	0	0	7.2	7.2	100	—

#### 基本目標3 【持続】「次世代へつなぐ持続可能な水道」の指標

指標番号	指標名	単位	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R11目標 (2029)	県内団体平均 R2(2020)
C102	経常収支比率	(%)	115.8	115.4	116.4	111.9	100以上	110.1

※指標番号は水道事業ガイドライン（PI）の番号です。

「—」の指標は本市が独自に定めた指標です。

## 2. 下水道事業

### 2. 1. 概況

#### (1) 公共下水道事業

表 13 過年度の下水道事業概況（公共下水道事業）

	単位	H30	R1	R2	R3	R4
水洗化人口	人	104,783	106,284	108,508	108,338	108,259
処理水量	m <sup>3</sup>	16,252,404	16,337,860	16,906,445	16,766,054	16,422,917
有収水量	m <sup>3</sup>	12,957,999	12,922,537	13,228,581	13,082,544	12,883,230
有収率	%	79.73	79.10	78.25	78.03	78.45
使用料収入	千円		1,167,994	1,174,779	1,162,388	1,151,902
使用料単価	円/m <sup>3</sup>		90.38	88.81	88.85	89.41

※使用料収入および使用料単価は特別会計と企業会計で算出方法が異なるので令和元年度以降を掲載

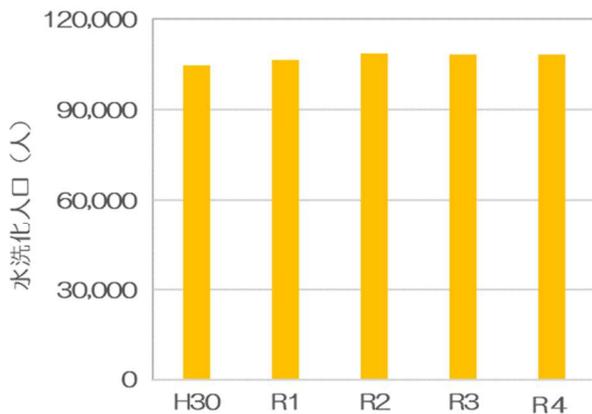


図 12 水洗化人口の過年度推移

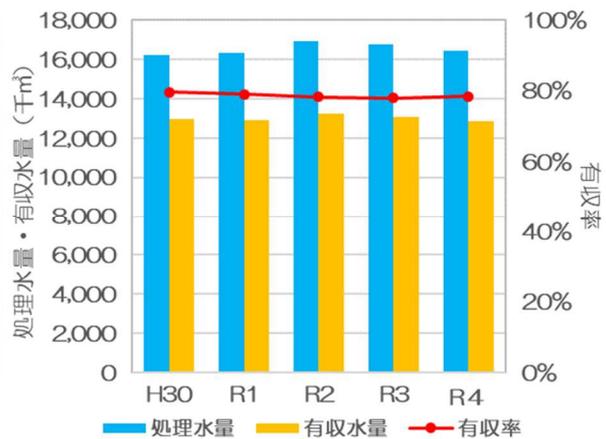


図 13 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

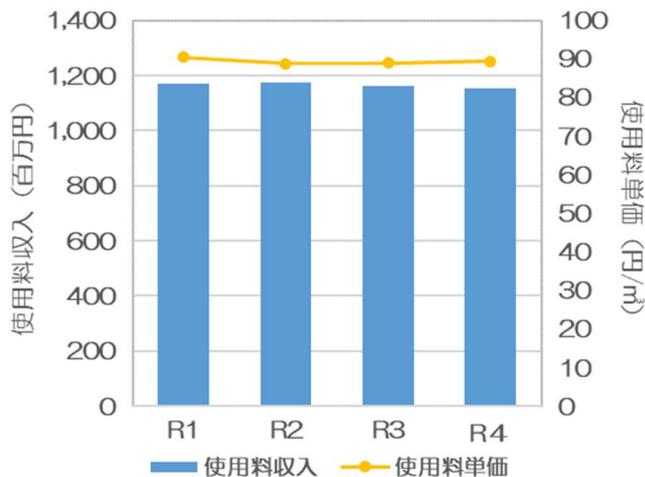


図 14 使用料収入・使用料単価の過年度推移

## (2) 農業集落排水事業

表 14 過年度の下水道事業概況（農業集落排水事業）

	単位	H30	R1	R2	R3	R4
水洗化人口	人	1,111	1,085	1,084	1,097	1,075
処理水量	m <sup>3</sup>	171,049	146,736	160,585	156,706	159,624
有収水量	m <sup>3</sup>	112,196	111,119	114,617	113,903	111,097
有収率	%	65.59	75.73	71.37	72.69	69.60
使用料収入	千円		8,845	9,140	9,122	8,928
使用料単価	円/m <sup>3</sup>		79.60	79.74	80.09	80.36

※使用料収入および使用料単価は特別会計と企業会計で算出方法が異なるので令和元年度以降を掲載

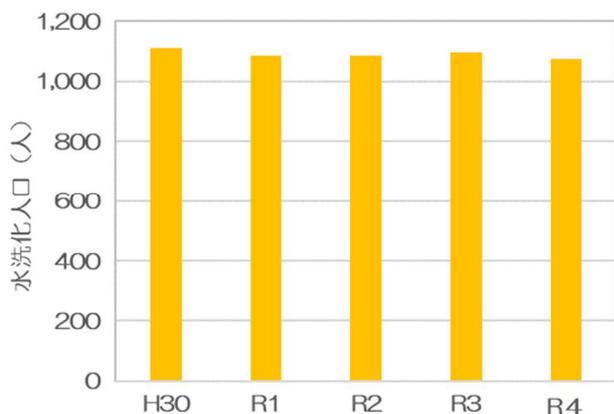


図 15 水洗化人口の過年度推移

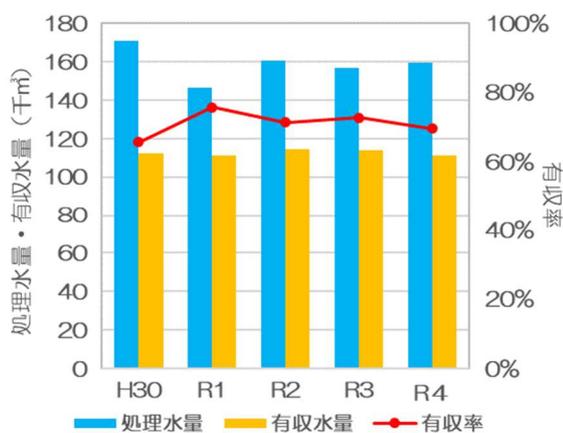


図 16 処理水量・有収水量・有収率の過年度推移

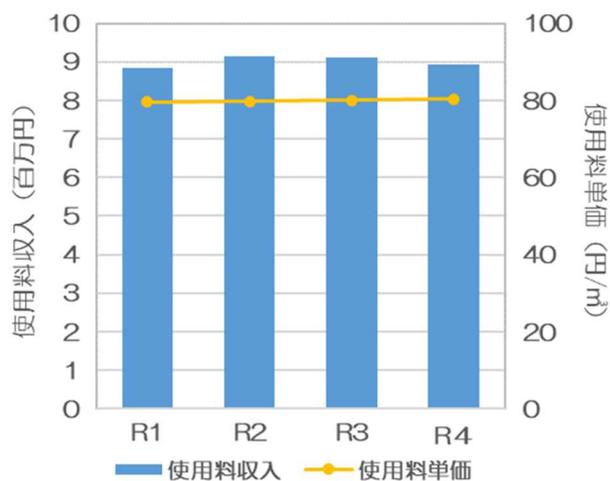


図 17 使用料収入・使用料単価の過年度推移

## 2. 2. 主な事業

### (1) 令和4年度の主な事業

ソフト	ハード
<p>■普及活動</p> <p>➢ 啓発用トイレットペーパー設置</p> <p>■その他</p> <p>➢ 小牧市下水道事業長期経営計画策定（6月）</p>	<p>□未普及解消</p> <p>➢ 入鹿出新田・西之島地区、下小針中島地区、久保一色地区等での污水幹枝線の新設</p> <p>□改築・更新</p> <p>➢ 桃花台污水中継ポンプ場外再構築基本設計</p> <p>➢ 公共下水道事業の管更生</p> <p>➢ 農業集落排水事業の管更生</p>

### (2) 下水道管渠の総延長

表 15 下水道管渠の総延長

単位：m

	R3末総延長	R4整備延長	R4廃止延長	R4末総延長
	①	②	③	④=①+②-③
公共下水道事業	710,924	4,750	8	715,666
農業集落排水事業	18,302	0	0	18,302
合計	729,226	4,750	8	733,968

### (3) 管更生、管渠老朽化率、管渠改善率

表 16 管更生に係る指標

		単位	R4	R3	比較
管更生	公共下水道事業	m	566	644	△78
	農業集落排水事業	m	1,243	1,381	△138
	合計	m	1,809	2,025	△216
管渠老朽化率		%	2.56	2.43	0.13
管渠改善率		%	0.24	0.28	0.04

(4) 供用開始区域の推移

表 17 供用開始区域の推移

		H30	R1	R2	R3	R4
供用開始面積 (ha)	公共下水道事業	2,201	2,228	2,282	2,313	2,319
	農業集落排水事業	69	69	69	69	69
		2,270	2,297	2,351	2,382	2,388
供用開始人口 (人)	公共下水道事業	114,413	115,528	117,638	117,206	116,992
	農業集落排水事業	1,259	1,222	1,216	1,222	1,189
		115,672	116,750	118,854	118,428	118,181
人口普及率 (%)	公共下水道事業	74.87	75.59	77.43	77.78	77.90
	農業集落排水事業	0.82	0.80	0.80	0.81	0.79
		75.69	76.39	78.23	78.59	78.69

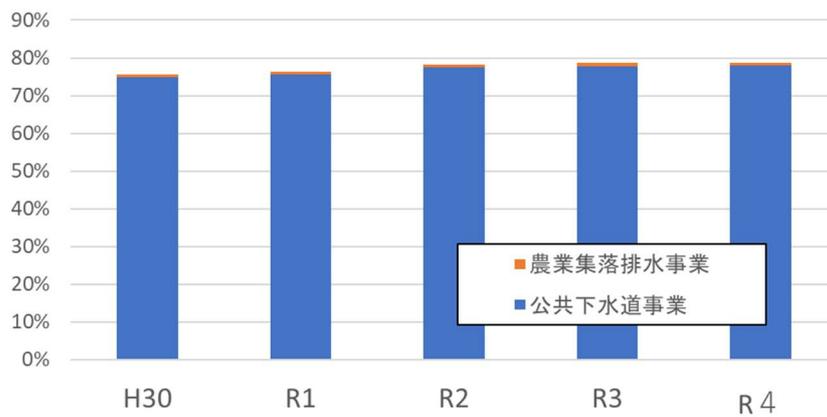


図 18 人口普及率の過年度推移

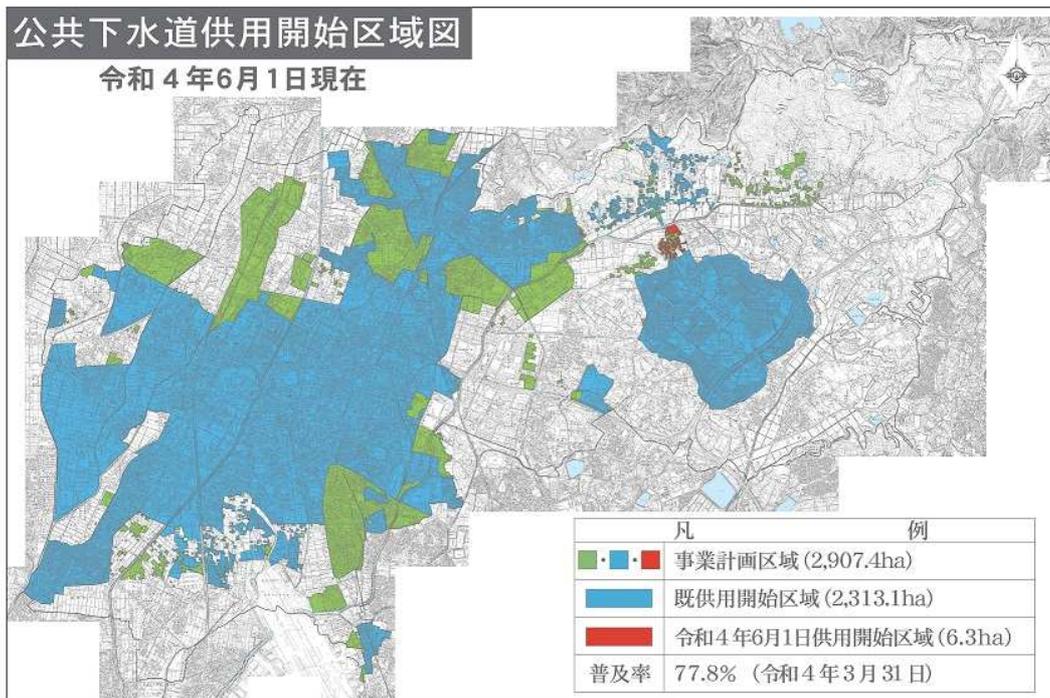


図 19 公共下水道供用開始区域図

## 2. 3. 決算報告

### (1) 収益的収入

表 18 収益的収入の実績と対前年度比較

		(税抜) (単位：円)			
		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業収益	下水道収益 (下水道使用料収入)	1,160,830,275	1,171,510,359	△ 10,680,084	99.09
	他会計負担金 (雨水処理にかかる一般会計繰入金)	67,193,468	66,526,454	667,014	101.00
	その他の営業収益	169,000	153,600	15,400	110.03
		1,228,192,743	1,238,190,413	△ 9,997,670	99.19
営業外収益	受取利息及び配当金	3,806	3,629	177	104.88
	他会計負担金 (汚水処理等にかかる一般会計繰入金)	207,529,562	215,165,026	△ 7,635,464	96.45
	他会計補助金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	290,112,439	301,147,970	△ 11,035,531	96.34
	長期前受金戻入	1,100,094,870	1,093,363,068	6,731,802	100.62
	雑収益	364,107	352,682	11,425	103.24
	1,598,104,784	1,610,032,375	△ 11,927,591	99.26	
特別利益	固定資産売却益	0	0	0	—
	過年度損益修正益	1,018,518	1,388,551	△ 370,033	73.35
	引当金戻入益	111,131	940,879	△ 829,748	11.81
	その他特別利益	0	0	0	—
	1,129,649	2,329,430	△ 1,199,781	48.49	
合計		2,827,427,176	2,850,552,218	△ 23,125,042	99.19

#### 【増減の大きな項目】

- 下水道収益：節水に対する意識向上・人口減少などにより約1千1百万円の減少。
- 他会計補助金：収益的支出の減少により約1千1百万円の減少。

収益的収入の合計は約2千3百万円の減少となりました。

## (2) 収益的支出

表 19 収益的支出の実績と対前年度比較

(税抜)(単位：円)

		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
営業費用	污水管渠費	176,794,589	172,046,077	4,748,512	102.76
	污水ポンプ場費	26,116,215	24,825,937	1,290,278	105.20
	流域下水道維持管理負担金	783,067,803	807,830,355	△ 24,762,552	96.93
	雨水施設費	25,159,270	11,445,829	13,713,441	219.81
	農業集落排水施設費	32,853,799	30,083,879	2,769,920	109.21
	業務費 (接続受付や負担金徴収業務)	77,936,254	86,348,723	△ 8,412,469	90.26
	総係費 (総務及び経営管理)	60,054,408	59,762,024	292,384	100.49
	減価償却費	1,506,665,578	1,498,845,008	7,820,570	100.52
	資産減耗費	9,063,872	230,521	8,833,351	3,931.91
		2,697,711,788	2,691,418,353	6,293,435	100.23
営業外費用	支払利息及び企業債取扱諸費	133,258,079	148,926,644	△ 15,668,565	89.48
	雑支出	2,565,919	2,411,580	154,339	106.40
		135,823,998	151,338,224	△ 15,514,226	89.75
特別損失	過年度損益修正損	591,390	1,095,641	△ 504,251	53.98
		591,390	1,095,641	△ 504,251	53.98
合計		2,834,127,176	2,843,852,218	△ 9,725,042	99.66

### 【増減の大きな項目】

- ▶ 流域下水道維持管理負担金：汚水処理水量の減により約2千5百万円の減少
- ▶ 雨水施設費：雨水ポンプ場修繕費の増により約1千4百万円の増加
- ▶ 業務費：受益者負担金納期前納付報奨金の減により約8百万円の減少

収益的支出の合計は約970万円の減少となりました。

### 【収益的収支の計算】

収益的収入 2,827,427,176 円 — 収益的支出 2,834,127,176 円

＝純損失 6,700,000 円

(※純損失は、令和3年度から令和4年度へ繰り越した雨水ポンプ場修繕工事の執行によるものです)

### (3) 資本的収入

表 20 資本的収入の実績と対前年度比較

(税込) (単位：円)

	R4	R3	対前年度比較	
			増減額	比率(%)
資本的収入				
企業債	376,200,000	296,600,000	79,600,000	126.84
負担金 (受益者負担金など)	45,273,620	140,153,280	△ 94,879,660	32.30
出資金 (収支不足分に対する一般会計繰入金)	609,135,073	468,338,856	140,796,217	130.06
他会計負担金 (雨水施設整備などにかかる 一般会計繰入金)	76,881,427	122,068,134	△ 45,186,707	62.98
固定資産売却代金	0	0	0	—
補助金 (国庫補助金)	225,650,000	178,400,000	47,250,000	126.49
	1,333,140,120	1,205,560,270	127,579,850	110.58

#### 【増減の大きな項目】

- 企業債：雨水幹線整備工事費の増に伴う借入の増などにより約8千万円の増加
- 負担金：供用開始面積減に伴う受益者負担金の減などにより約9千5百万円の減少
- 出資金：資本的支出の増により約1億4千1百万円の増加

資本的収入の合計は約1億2千8百万円の増加となりました。

#### (4) 資本的支出

表 21 資本的支出の実績と対前年度比較

(税込) (単位: 円)

		R4	R3	対前年度比較	
				増減額	比率(%)
資本的支出	建設改良費	1,107,963,038	899,915,755	208,047,283	123.12
	汚水管渠建設改良費	612,521,364	630,625,539	△ 18,104,175	97.13
	汚水ポンプ場建設改良費	20,660,000	13,180,000	7,480,000	156.75
	流域下水道建設負担金	83,038,616	92,122,791	△ 9,084,175	90.14
	雨水施設建設改良費	273,744,958	62,688,425	211,056,533	436.68
	農業集落排水施設建設改良費	117,052,100	101,299,000	15,753,100	115.55
	固定資産購入費	946,000	0	946,000	皆増
	企業償還金	652,897,510	680,577,963	△ 27,680,453	95.93
	過年度返還金	0	0	0	—
	1,760,860,548	1,580,493,718	180,366,830	111.41	

#### 【増減の大きな項目】

- 汚水管渠建設改良費：汚水工事費の減などにより約1千8百万円の**減少**
- 雨水施設建設改良費：雨水幹線整備工事費の増などにより約2億1千1百万円の**増加**
- 農業集落排水施設建設改良費：処理施設改良工事費の増などにより約1千6百万円の**増加**

資本的支出の合計は約1億8千万円の**増加**となりました。

#### 【キャッシュフロー計算書】（計算式は水道事業 7ページ参照）

##### 資金期末残高

$$\begin{aligned}
 &= \text{資金期首残高} + ( \text{①業務CF} + \text{②投資CF} + \text{③財政CF} ) \\
 &= \underline{466,618,634 \text{ 円}} + ( \underline{487,783,033 \text{ 円}} - \underline{701,465,163 \text{ 円}} + \underline{332,437,563 \text{ 円}} ) \\
 &= \underline{585,374,067 \text{ 円}} \quad (118,755,433 \text{ 円の**増加**)}
 \end{aligned}$$

(5) 貸借対照表

表 22 貸借対照表の概要

単位：千円

			R5.3.31	R4.3.31	増減額	
資産の部	固定資産	有形固定資産	37,080,549	37,424,473	△ 343,924	
		無形固定資産	2,732,584	2,779,799	△ 47,215	
		投資その他資産	1,696	1,696	0	
				39,814,829	40,205,968	△ 391,139
	流動資産	現金預金	585,374	466,619	118,755	
		未収金・貸倒引当金	263,221	280,761	△ 17,540	
		前払金	100,300	103,800	△ 3,500	
		948,895	851,180	97,715		
			40,763,724	41,057,148	△ 293,424	
負債資本	負債の部	固定負債	企業債	7,260,522	7,503,761	△ 243,239
				7,260,522	7,503,761	△ 243,239
		流動負債	企業債	619,439	652,897	△ 33,458
			未払金	406,847	330,674	76,173
			引当金	11,588	10,353	1,235
	その他流動負債		164,926	184,526	△ 19,600	
	繰延収益		1,202,800	1,178,450	24,350	
		長期前受金	23,319,188	22,872,968	446,220	
		収益化累計額	△ 4,374,526	△ 3,285,692	△ 1,088,834	
		建設仮勘定長期前受金	90,922	125,278	△ 34,356	
				19,035,584	19,712,554	△ 676,970
				27,498,906	28,394,765	△ 895,859
	資本の部	資本金		12,896,905	12,287,770	609,135
			資本剰余金	367,913	367,913	0
		利益剰余金	利益剰余金	0	6,700	△ 6,700
			367,913	374,613	△ 6,700	
			13,264,818	12,662,383	602,435	
			40,763,724	41,057,148	△ 293,424	

【主な分析指標】

自己資本構成比率 = 自己資本(資本金+剰余金+繰延収益) ÷ 総資産(負債+資本) × 100  
 (総資産に占める自己資本の割合を示すもので、この割合が大きいほど経営が安定している)

固定資産対長期資本比率 = 固定資産 ÷ (自己資本+固定負債) × 100  
 (長期の安定性を示すもので、100%以下が望ましい)

流動比率 = 流動資産 ÷ 流動負債 × 100  
 (短期債務に係る支払い能力・運転資金の状況を示すもので 200%以上が望ましい)

表 23 主な分析指標の過年度推移

単位：%

	R1	R2	R3	R4
自己資本構成比率	77.3	78.2	78.9	79.2
固定資産対長期資本比率	101.1	101.0	100.8	100.6
流動比率	63.3	65.8	72.2	78.9

## 2. 4. 経営指標

### (1) 経常収支比率

経常収支比率 = (営業収益 + 営業外収益) ÷ (営業費用 + 営業外費用) × 100

表 24 経常収支比率の過年度推移

	R1	R2	R3	R4
経常収支比率	102.47	93.93	100.19	99.74

単位：%

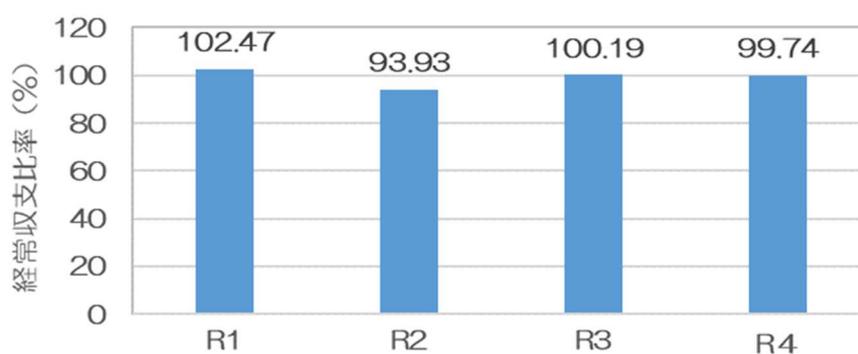


図 20 経常収支比率の過年度推移

### (2) 企業債

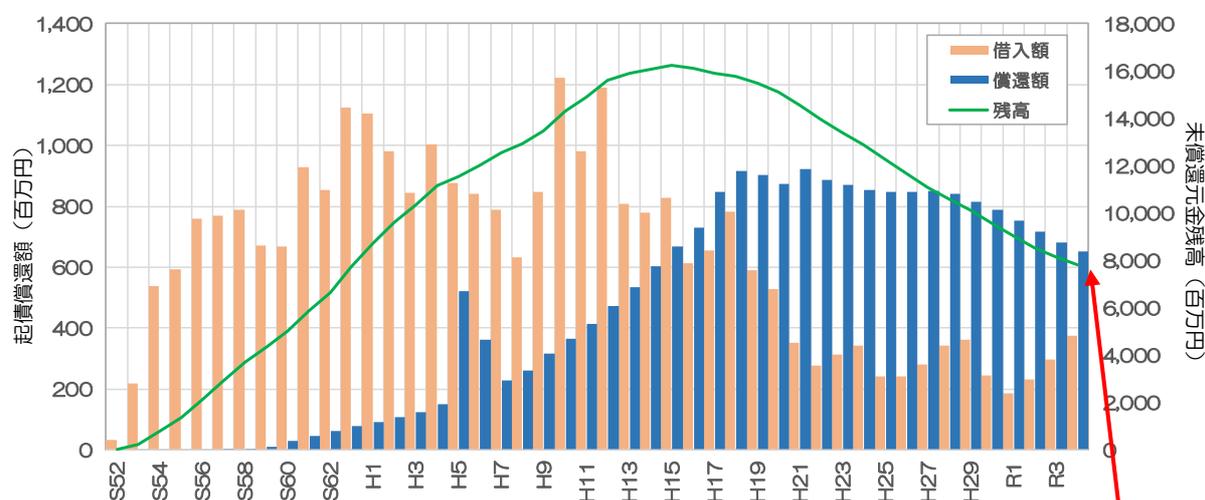


図 21 企業債の借入額と償還額、残高の実績

R4末残高：78億8千万円

## 2. 5. 長期経営計画の進捗

### (1) 全体計画の達成率

全体計画の達成率＝供用開始面積÷全体計画面積

表 25 長期経営計画の進捗

単位：%

	R2	R3	R4	R13目標	R24目標
全体計画の達成率	61.43	62.26	62.43	90	100
(全体計画変更後の達成率)	(70.87)	(71.83)	(72.03)		

※全体計画変更手続きの途中のため、全体計画変更後の達成率見込みを括弧内に記載

### (2) 一般会計繰入金

表 26 一般会計繰入金の過年度推移

単位：千円

	R2	R3	R4
3条繰入金	415,857	582,839	564,835
基準内	294,860	281,691	274,723
基準外	120,997	301,148	290,112
4条繰入金	694,184	590,407	686,016
基準内	77,337	122,068	76,881
基準外	616,847	468,339	609,135
合計	1,110,041	1,173,246	1,250,851
基準内	372,197	403,759	351,604
基準外	737,844	769,487	899,247

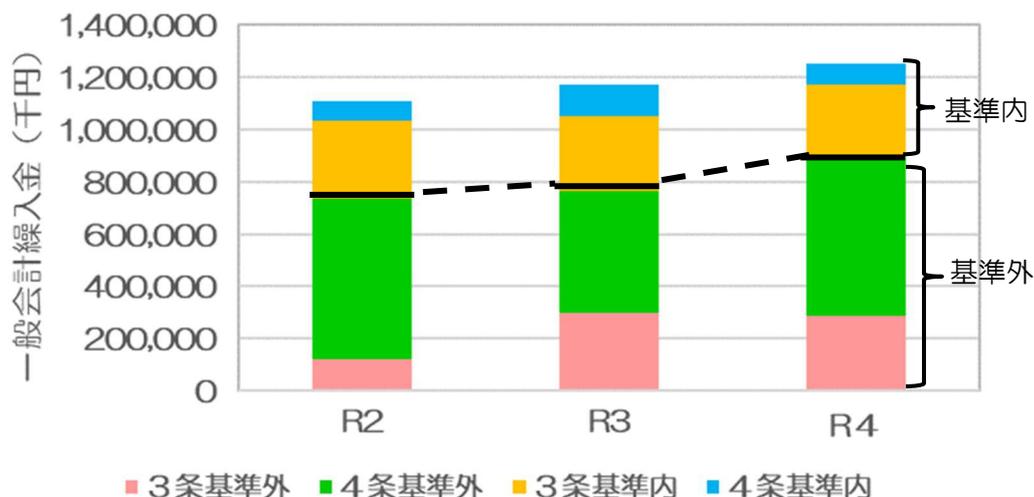


図 22 一般会計繰入金の過年度推移

### (3) 経費回収率

経費回収率＝使用料単価÷汚水処理原価×100

表 27 経費回収率の進捗

	単位	R2	R3	R4	R13目標	R33目標
使用料単価	円/m <sup>3</sup>	88.7	88.8	89.3	—	—
汚水処理原価	円/m <sup>3</sup>	150.9	151.0	152.0	—	—
経費回収率	%	58.8	58.8	58.8	100.0	100.0



図 23 経費回収率の過年度推移

近隣市との比較（小牧市は令和4年度、その他は令和3年度の数値）

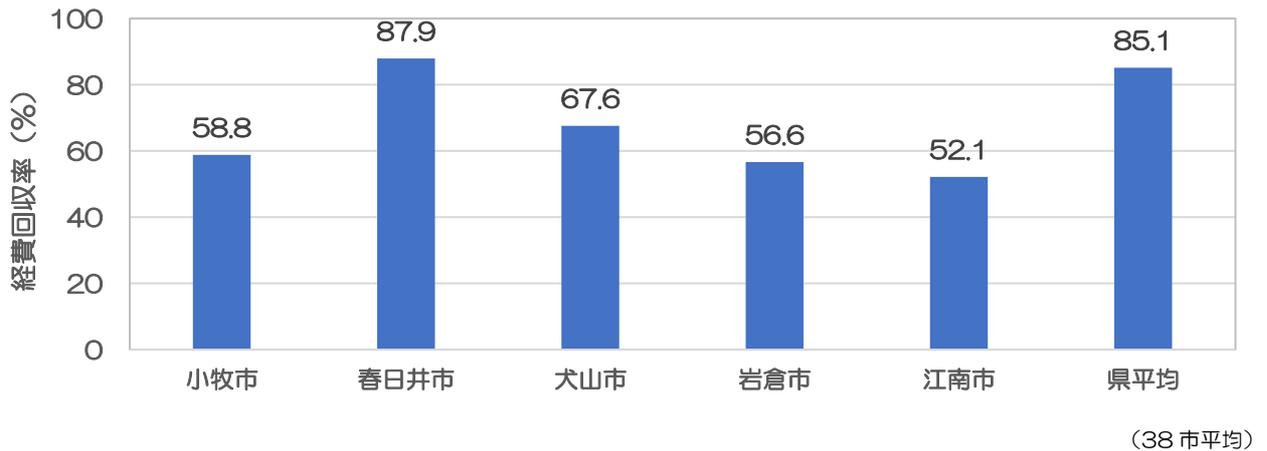


図 24 経費回収率の近隣市比較

## 2. 6. 社会資本総合整備計画の進捗

社会資本総合整備計画とは、国土交通省の補助金を要望活用して事業を実施する時に作成する計画で、目標指標により補助金の有効活用を確認するものです。

### (1) 小牧市における良好な水環境の形成（重点計画）

対象事業：污水管新設事業

計画期間：令和3年度～令和7年度

進捗状況：目標達成に向け污水管整備を進めています。

	事業費・目標指標	現況(R4末)	計画事業費・目標値	
			中間(R5末)	最終(R7末)
1	補助対象事業費（補助率50%）	345百万円	—	1,206百万円
2	下水道処理人口普及率	77.90%	79%	81%

※事業費は令和5年度への繰越分74百万円を除いた額

### (2) 小牧市における良好な水環境の形成と浸水対策による被害の軽減（防災・安全）

対象事業：①ストックマネジメント計画策定

②桃花台污水中継ポンプ場改修工事

計画期間：令和2年度～令和6年度

進捗状況：令和4年度に策定したストックマネジメント計画に基づき桃花台污水中継ポンプ場の更新工事を進めます。

	事業費・目標指標	現況(R4末)	計画事業費・目標値	
			中間(R4末)	最終(R6末)
1	補助対象事業費（補助率50%）	36百万円	—	218百万円
2	ストックマネジメント計画の策定率	100%	100%	100%
3	桃花台污水中継ポンプ場工事進捗率	0%	0%	46%
4	雨水ポンプ場のストックマネジメント計画詳細調査実施率	0%	0%	100%